

# 下小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩小学校校長 鶴田 麗子

コーディネーター 伊佐 厚子

## 2 ボランティア登録数(令和6年1月末現在)

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	33人
	学生ボランティア	0人

## 3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
通学路安全運転呼びかけ隊	毎日	8人
学習サポーター	毎日	10人
図書ボランティア	月1回	15人



通学路安全運転呼びかけ隊



学習サポーター



図書ボランティア

## 4 今年度の成果と課題

### <成果>

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症についての法律上の位置づけが変わり、学校における感染症に対する対応も緩和してきました。令和2年の全国一斉臨時休業以来、思うように実施できなかった学校応援団活動も徐々に再開することができました。

通学路安全運転呼びかけ隊の皆さんは、児童の登校の交通安全を毎日見守ってくださっています。安心して通学するという学校教育活動の最も重要な部分を力強く支えていただいています。

図書ボランティアの皆さんは、各学級で月に1回の読み聞かせをしてくださっています。年間2回は大型絵本やスクリーンを用いて、いつもより趣向を凝らした「お話会」が行われます。「図書ボラだより」でのおすすめの本の紹介により、児童が読書への関心をもつ一助となっています。ボランティアメンバーの募集も行われ、お手伝いくださる方は当初よりずいぶん増えました。

学習サポートの皆さんは、下小岩第二小学校で同様の活動をされていた方が中心となって取り組んでくださっています。1、2年生の授業にかかわっていただき、児童の学習のサポートをお願いしています。なかにはご帰宅の際に職員室にお立ち寄りくださり「今日は楽しかった。」とお伝えいただくなど、応援団の皆さんも喜んでくださっているようです。

児童の学習に直結する活動が実施できていることが、本校の学校応援団の大きな強みであると考えています。

### <課題>

本校は今年度旧下小岩小学校と下小岩第二小学校が統合して開校しました。

両校の学校応援団活動にコロナ禍以前からご支援いただいた方々の多くの取り組みが再開できていません。2校が統合したことにより、今後どのように活動を再開・再編していくか、また新たな取り組みを創造できるかどうか大きな課題です。

## 5 コーディネーターより

次代を担う子どもたちと肩を並べて学習できることを喜んでいます。

子どもや学校に対して貢献できている実感が心地よいのだと思います。

学習サポートに携わっている方々に感想をいただきましたので、以下に挙げます。

- 学習サポーターの立場でどこまで踏み込んで対応したらよいのか。具体的な場面でどのようにサポートすればよいのか。手探りの活動が多く、アドバイスが欲しい。
- サポートしている児童がサポーターのことをどのように感じているのか。児童のニーズに合っているのか。フィードバックが欲しい。
- 学習サポーターの活動が学校側の期待に応えているのか知りたい。

今後も児童、学校の皆さんとよりよいかかわりができるように努力していきたいと思えます。

## 6 学校長より

いつも学校応援団の皆様には、本校の学校教育に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

児童の安全という教育活動の根幹を支えてくださる**通学路安全運転呼びかけ隊**の皆様。

読書科を推進する江戸川区の教育の一翼を担ってくださっている**図書ボランティア**の皆様。

学ぶ喜びと安心感を児童に味わわせてくださっている**学習サポーター**の皆様。

学校からはお願いをするばかりで心苦しい思いがありましたが、応援団の皆様が喜んで取り組みを推進してくださっていることに安堵いたしました。

今後は、主にホームページを通じて皆様の取り組みを発信し、その成果を共有するとともに、さらにたくさんの方々に声がけし、価値的な活動を推進してまいります。